

わたしたちのまちの 財政状況



問合せ先 市役所財政課 (☎31-4512)



20(令和2)年度一般会計決算の概要をお知らせします

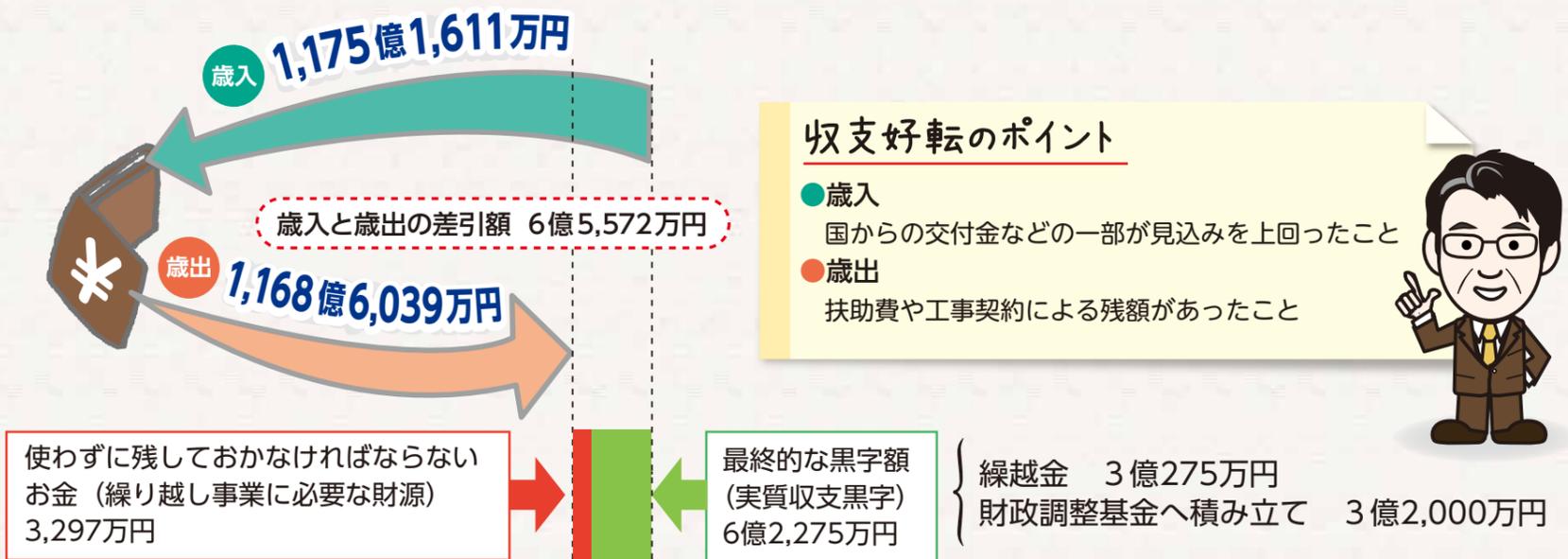
20(令和2)年度の予算編成では、国から交付される地方交付税が減少していく中で、まちづくりの基本的方針である「まちづくり基本構想」の重点戦略をさらに推進するため、「地元企業の振興と地域経済を担う人材の確保」「地域資源を活かした世界一級の観光地域づくり」「学力向上と幅広い連携による子どもたちの可能性の拡大」「コンパクト・プラス・ネットワークを基本とする持続可能なまちづくり」「『強靱化』『防災』の考え方を取り入れた地域社会の構築」という5つの政策テーマにかかる事業に対して予算の重点化を図ることとし、これらの事業を実施するために必要な財源を基金(貯金)から取り崩すなどにより予算を編成しました。

予算の執行段階においては、歳入では国からの交付金などの一部が予算を上回ったことや、歳出では扶助費(福祉に関わる経費)や工事契約による残額が生じた結果、一般会計における収支(収入-支出)は、約6億5,000万円の黒字となりました。

この黒字のうち、約3,000万円を21(令和3)年度に繰り越して実施する事業の財源として確保したことから、最終的な黒字額は約6億2,000万円となりました。

このうち、繰越金約3億円を21(令和3)年度に活用可能な財源として確保し、残りの約3億2,000万円を財政調整基金(貯金)に積み立てることとしました。

22(令和4)年度の予算編成については、コロナ禍後の社会への対応や地域経済の活性化に向けて、まちづくり基本構想における重点戦略を踏まえ、「アフターコロナの働き方を見据えた環境整備」「地域経済を支えるまちづくり」「誰もが住みやすさを実感するまちづくり」という3つの政策テーマを設け、その実現に資する事業に対して、予算の重点化を図ることにより、次の世代へこのまちの未来を引き継いでいくことができる予算となるように取り組んでいきます。



20(令和2)年度決算の詳細は次のページをご覧ください

※お知らせする数値は、各項目で四捨五入しているため、合計額が一致しない場合があります。

くしろ男女いきいき参画表彰 受賞おめでとうございます

問合せ先 市役所市民協働推進課 (☎31-4504)

今年で6回目となるこの賞は、女性の活躍の促進、子育てしやすい環境の充実、女性のチカラ(感性や視点等)を生かした地域の活性化等、男女平等参画の推進に関わる活動に取り組んでいる個人、企業、団体および支援している企業、団体等を表彰するものです。

10月24日に男女平等参画センター「ふらっと」において表彰式が行われました。

釧路の子育て応援情報 Report



くしろ男女いきいき参画表彰式

釧路市に転入した代表者が中心となって、自身を含めた子育て中の女性をお互いに応援し合うための活動を行っている団体です。

ブログ・SNSの発信や、おさがり広場、ママカフェ交流会、ママ夜会などのイベントの企画運営、子育て情報誌の発行など、さまざまな活動を行っています。

ブログ・SNSに対しては、転勤族や若い世代のお母さんたちからの大きな反響があり、子育て中の女性の心のよりどころにもなっています。

市外から来られた方が釧路に新しい風を吹き込みながら、子育て世代に役立つ情報を発信しているところが評価されました。子育てをしている女性たちに対して、生活の楽しみ方や自分らしく生きていく方策を発信するとともに、自分がやりたいことに気づくことができる場の創出を行っており、今後も子育てしやすい環境づくりを続けていくことが期待されます。

釧路地区障害老人を支える会(たんぽぽの会)



くしろ男女いきいき参画表彰式

道内2番目の介護家族会として、85(昭和60)年に発足した団体です。「認知症や障がいを持ったとしても、住み慣れた地域で安心して暮らすことのできる地域づくり」の理念の下、介護者家族の交流会、当事者と家族や住民、ボランティアの交流会、元気サロン、介護予防教室、電話相談、子ども世代が認知症に対する理解を深めるための絵本コンサートなどの活動を行っています。

94(平成6)年には、行方が分からなくなった高齢者等を速やかに保護するための「SOSネットワーク」の立ち上げも行っています。

高齢者を中心としながらも、いろいろな世代の関わりを生み出しながら、長年にわたって地域における支援活動を続けてきたところが評価されました。今後も地域における支え合いを続け、高齢者が家族とともに地域で安心して暮らしていくためさまざまな活動を続けていくことが期待されます。